

## 第4回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成20年10月15日15:00～

場所：当別町役場第二庁舎 2階会議室

出席委員 18名、欠席委員 5名、オブザーバー 1名(代理)、傍聴人 3名

### 1 開会 (司会：増輪事務局長)

### 2 会長挨拶 (近藤会長)

今年4月から3年目の実証運行を行ったふれあいバスも10月で半年を過ぎた。本日は上半期の報告を中心に議事を進める。また、実証運行事業参加事業者の委員2名が、人事異動により変わったので、新委員の方々への委嘱状交付を行う。

### 3 委員委嘱状の交付 (近藤会長)

- ・鈴木邦仁委員(北海道医療大学経営企画部総務企画課長)
- ・石田香世子委員(医療法人社団とうべつ整形外科事務員) 欠席

### 4 報告 (事務局)

#### (1) 当別ふれあいバス 平成20年度の上半期実績報告について(資料1-1、1-2)

西当別線・あいの里線・金沢線は好調、市街地循環降順・お買い物ふれバは低迷。SuiSuiふれバは平均3.2人、予約制だがほぼ毎週金・土曜日運行している状況。

応援券は6ヶ月定期が多い傾向。4月と9月に固まっているて、10月にも多く出る予想。回数券もある程度出ている状況。

資料の1-2より市街地循環線、金沢線はH18・H19と比べて伸びている。乗降者累計は一番多かったH18より半年の累計が上回っている。

運行収入は、4月は落ち込んだものの、それ以外は前年を上回っている。累計では、9月で昨年を上回っており、今年度は一千万を越える見通し。

#### 質疑

(1)の報告について、質疑はなし。

#### (2) 夏季OD調査の結果報告について(資料2) 北海道開発技術センター大井より説明。

7月28日から8月3日までの7日間、平日5日、土日2日の実施。バスに調査員が乗車しての調査。乗降箇所、利用者属性、支払方法、乗り継ぎの有無を調べる。

乗り継ぎで一番多いのは西当別・あいの里線と金沢線。他にみどり野・青山線から金沢線、これは病院利用者、みどり野・青山線から西当別・あいの里線、これはロイズの通勤利用者がそれぞれ利用している。

みどり野・青山線の一便当たりの利用者数は、平日と土日での差はあまり無い。

土日の西当別・あいの里線では、当別駅南口からの利用が激減している。

質疑

(2)の報告について、質疑はなし。

(3) ニュースレターの発行について(資料3)

当初はA3版4回の発行を予定していたが、多くの皆様の目にふれる方が良いと判断した為、A4版6回、A3版1回の発行とした。発行予定は資料のとおり。

質疑

(3)の報告について、質疑はなし。

(4) 小中学生向けモビリティマネジメントの実施について(資料4-1、4-2)

資料4-1を用いて、9月18日に校長会で説明を行った。授業実施の詳細については個別に学校に伺って行うこととしている。

10月2日に当別小学校5年1組対象に授業を実施した。前半はバスとBDFの説明、後半は実際にバスに乗っての授業。新聞にも取り上げられた。

質疑

(4)の報告について、質疑はなし。

(5) 利用促進ツアーの実施について(資料5)

8月18日から9月16日まで募集、104通の応募があった。9月22日に4名の協議会の委員により抽選を行い、ツアー参加者を決定した。本来であれば本協議会で抽選するところであったが、日程の都合と抽選のみのために協議会を開催することができないので、参加事業者代表者の医療大学・北洋交易・とうべつ整形外科3名と小林委員に抽選をお願いした。

10月25日実施予定の旭山動物園ツアーが、動物園の休園日であったため、当選者の了解を得て、18日に振り替えて実施する。

質疑

(5)の報告について、質疑はなし。

(6) バス待合所設置について(資料6)

資料6のとおり、待合所設置について行政推進員会議やニュースレターで募集をかけたが、応募が無かった。こちらから声を掛けて設置を行う予定。乗降者数の多い箇所、田西会館前の1箇所と、スウェーデンヒルズ内に1箇所の合計2箇所を設置する方向で協議している。

質疑

質問：武井久幸委員(当別町福祉部長)

なぜ応募が無かったか、維持管理が重荷になっているのか、または必要がないと感じている人が多いのではないかと。予算があるからといって、無理に設置をお願いする必要があるのか。

回答：五十嵐課長

予算については無理やり執行する予定では無く、田西会館も北洋交易も協議が整えば実施するという考え。必要の有無は今後の検討だが、地域の負担になることは避ける。また、西当別地区ではベンチを設置していて、こちらのニーズが高いとの声もある。

回答：増輪事務局長

今までバス待合所が無かったこともあり、待合所の利便性が浸透していない。まず、設置をして必要かどうか見極めたい。

回答：近藤会長

個人的な意見としては設置の要望は聞いているが、町内会単位となるとまとまりづらい面があるようだ。

## 5 議事（事務局）

### （1）廃食油回収システムについて（資料7）

現在、夏季はBDF100%で運行しているが、内訳は購入が4,000リットルと現在の回収分では足りていない。町内事業者から16,000リットル集めているものの、一般家庭での回収が400リットルと少なく、町外事業者から4,300リットルを集めている。現在の一般家庭分、町外事業者分に購入分を加えた9,000リットルを町内一般家庭から集め、ふれあいバスで使用するBDFを町内で賄えるようにしたい。

目標達成に向けた方法として、広報を実施する。ニューズレターの11月号はBDF特集を組み、ポスターの貼り付け、チラシの配布を行い、これらのデザインを統一して、宣伝効果を高める。

回収におけるお礼の実施を予定しており、11月12月に回収する分については、500mlに対して回数券1枚を渡す。学校に対しては50lに対して図書券500円を渡す予定。また、要望のある所に専用容器を、宣伝の意味を込めて配布する。

回収拠点としては、バス車内で渡すか、またはバス停にて油だけ渡すことも可能とする。学校では、児童生徒に学校に持ってきてもらい、回収する。学校向けのモビリティマネジメントと合わせて効果を高める。

町内店舗でも回収拠点の協力を募る。店舗については謝礼は発生しない。

### 質疑

質問：小林万世委員（当別町女性団体連絡協議会幹事）

現在、油の回収を町内会単位で行っているが、回数券のお礼について町内会で申し込むことは可能か。

回答：五十嵐課長

問題ない。

質問：高木馥美委員（当別町高齢者クラブ連合会会長）

油を集めているが、ペットボトルだと漏斗を使わなければならない、大きな漏斗だとバランスが悪いので、良い方法は無いものか。

回答：増輪事務局長

それを回収容器の配布でクリアさせたい。全戸配布は難しいので、手を挙げていただ

いたところに配布する。現在、配布用に広口の容器を探している。

回答：下段委員（有限会社下段モータース代表取締役）

現在は、10リットルの容器を配布しているが、容量が少し大きい。入れる口についても色々と考えている。焼酎の容器なども使い勝手が良いと聞く。

回答：五十嵐課長

これらの意見を参考に、回収容器の配布を進めて行きたい。

(2) 今後のスケジュールについて（資料8）

以降の本年度協議会は来年1月に開催予定。内容は国土交通省への事業実施状況評価、ダイヤ改正の承認の協議を行う。またその後の協議会では、21年度の事業計画、20年度の報告等が予定されている。

質疑

(2)の議事について、質疑はなし。

6 その他（事務局）

次回協議会は来年1月中旬を予定しているので、ご協力願いたい。また、廃食油の回収システムについても、11月12月の集中的に実施するので、ご協力願いたい。

7 閉会（近藤会長）